あなたの生活と行政をつなぐ

Saku LIFE ライフ

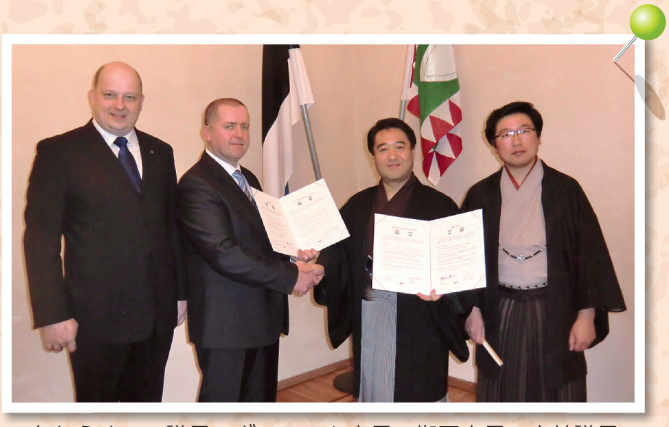
広報佐久

今月のトピックス

平成28年１月

エストニア共和国サク市公式訪問の記録

子ども交流覚書調印



左からオッツ議長、ヴァヘヌム市長、柳田市長、小林議長

フィンランド陸上競技連盟への説明

仲介の労をとっていただいた在フィンランド日本大使館
篠田大使（中央）を表敬訪問

エストニア陸上協会への説明

仲介の労をとっていただいた在エストニア日本大使館
甲斐大使（中央）を表敬訪問

柳田市長、小林議長をはじめとする公式訪問団が、１月13日から19日の７日間、エストニア共和国サク市などを訪れました。

訪問団は、大きく３つの目的を持って訪問しました。

ひとつが友好都市であるサク市の創立150周年記念式典に出席すること。

２つ目は、両市の子ども交流覚書調印。

そして、３つ目は、エストニア及び隣国フィンランドの陸上競技団体への2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致です。

そのほか、国会議事堂、史跡、学校、市役所、地元企業などを視察しました。

サク市創立150周年記念式典へ出席

サク市役所の外観

サクビール本社工場

サク　ギムナジウム学校の１年生の教室

エストニア国会議事堂

エストニア・日本友好協会議員連盟の皆様と

タリン旧市街（世界遺産）

タリン旧市街　旧市庁舎

平成27年度 第30回佐久平の美術展

入賞者・入選者のみなさんをご紹介します

佐久地域ゆかりの皆さまによる公募展「佐久平の美術展」は、本年度第30回を迎え、去る1月22日には竹内順一先生・大津英敏先生・米谷清和先生による厳正な審査を行い、118点の入選作品のうち、最優秀賞から第30回展記念特別賞まで17点の入賞作品が決定しました。

今回は例年になく初出品の方が多く、表現も多彩で、非常に面白い展覧会になったと審査員の先生方をはじめ、来館者の方からもご好評の声をいただきました。

来年度の応募要項は夏頃決定予定です。どうぞふるってご応募ください。

最優秀賞　平面部門
「ダイヤモンドダスト舞う頃」清原いづみ（佐久市）

入賞

最優秀賞
平面部門
「ダイヤモンドダスト舞う頃」
清原いづみ（佐久市）

優秀賞
平面部門
「映る街」
荻原康弘（佐久市）
「街角」
渡邉潤一郎（小諸市）

奨励賞
平面部門
「昼下り」
岩附いわ子（上田市）
「春のにおい」
工藤たか子（佐久市）
「TOKIMEKI 5」
小林冴子（佐久市）
「劣等感」
古畑葉月（長和町）
「貌象」
佐藤愛子（佐久市）
「蔦漆」
土屋和人（小諸市）
「義羽山」
依田能江（小諸市）
「桑木霊2015―2016」
竹村忠彦（上田市）

立体造形部門
「装備する子供『武者・MUSA』」
臼井　亮（上田市）

新人賞
平面部門
「盲目」
花木美里（千曲市）
「春の訪れ」
諸山光子（長野市）
「春が来た！」
宮下道子（佐久穂町）

立体造形部門
「犠牲」
寺西穂華（上田市）
大塚まる美（東御市）
共同制作

第30回展記念特別賞
平面部門
「日・出づる刻」
清水文彦（佐久市）

優秀賞　平面部門
「映る街」
荻原康弘（佐久市）

優秀賞　平面部門
「街角」
渡邉潤一郎（小諸市）

入選

平面部門

◇佐久市　浅野多恵子、井出宏、臼田敦、臼田志保子、臼田泰雄、臼田由美、荻原信子、川瀬祥太、小島京子、小林和子、坂本ひろ子、佐藤和三、雫田いく代、大工原照富、大工原広子、高野ルミ、高見澤英雄、髙柳朝江、田中みよ子、千葉敏雄、津金貴代江、内藤建吾、長谷川智亮、早川叫石、林光子、平林千春、三石俊司、毛利定夫、茂木富子、森泉達也、矢ヶ崎仙修、矢野幸枝、山田恭愛、油井昌子、吉澤政敏、吉水陽子

◇小諸市　白鳥純司、春原健次、髙橋重之、田中武司、早川いずみ、張谷悦子、平井克孝、美斉津くに子、水上寛、山崎潤一郎、米沢瑠美子

◇軽井沢町　下山良範

◇御代田町　青木昭人、有馬健、内堀稔、駒村まり、櫻井たか子、島田芳樹、千村房子、藤巻元美、松井春江、宮本繁和

◇立科町　山浦千恵子、倉沢修、芝間朱里

◇佐久穂町　市川益子、小林玲子、宮下順、山浦臨三、山口さき子

◇南相木村　小池清美

◇東御市　赤堀唱子、射手宏子、荻原行夫、金本真理、唐澤冬明子、矢島啓子、柳澤成子

◇上田市　石黒嘉子、上原健一、木下文雄、窪田富紀子、小泉和子、佐藤かつ子、杉村俊明、滝澤佳美、竹内まつよ、遠山忠良、長谷川靖、増田紀雄、山本日和、和方信子

◇長和町　星野於き子

◇青木村　上野光江

◇坂城町　宮下六朗

◇長野市　安藤庄一、三枝悦子

立体造形部門

◇佐久市　臼田文子、大草洋子、菊原一幸、髙橋正道、田中北星、内藤かずよ

◇上田市　宮永征志

◇坂城町　宮下六朗

（敬称略）

■問合せ
近代美術館　☎67―1055

平成28年１月の出来事

第11回市民元旦マラソン

第11回市民元旦マラソンが佐久総合運動公園陸上競技場を発着として開催されました。総勢157名の小学３年生から68歳までの幅広い年齢の方々が参加されました。

青空のもと、参加者の皆様が新春の朝を走りました。

佐久市臼田健康活動サポートセンター起工式

１月８日、「佐久市臼田健康活動サポートセンター新築工事起工式」が行われました。

この施設は、佐久総合病院再構築に伴う臼田まちづくり事業の拠点施設として、市民の健康増進及び交流による地域活性化を図ると共に、地域の強みである医療・健康・福祉の一層の向上に資することを目的とし整備をするもので、今年10月の開館を予定しています。

佐久市消防出初式

１月９日、佐久市消防出初式が佐久平駅前の市民交流ひろば・佐久平交流センターにて挙行されました。佐久市消防団員約900名が一堂に会し、纏（まとい）を用いたパフォーマンスや昔ながらの手押しポンプを交えた新旧消防ポンプによる初放水、整然とした分列行進、幼年消防クラブの演技披露などが行われ、観客を大いに賑やかしました。

式典は佐久平交流センター内で行われ、来賓の方々による新年の祝辞や、功績のあった消防団員に長野県消防協会などから表彰が執り行われました。

佐久長聖高等学校、野沢北高等学校「全国高等学校総合体育大会スケート競技」出場報告

佐久長聖高等学校と野沢北高等学校スケート部員が１月19日から岩手県盛岡市で開催される「第65回全国高等学校スケート競技選手権大会」に出場するため、１月12日に市役所を訪れ柳田市長に出場の報告と、大会に向けての決意を述べ健闘を誓いました。

望月地区新保育所起工式

平賀・内山地区新保育所起工式

望月地区および平賀・内山新保育所起工式

１月23日、平成29年４月に開園を予定している望月地区新保育所、平賀・内山地区新保育所の本体建築工事の起工式を執り行いました。両保育所とも建物は、主に佐久市産の木材を使った木造・平屋建てを予定しています。

布施温泉300万人達成！

「ふれあいの湯布施温泉」で、１月24日に来館者数300万人を達成し、記念式典を開きました。

300万人目となった佐久市在住の飯出イネ子さん（82）は、同施設の常連で週２回ほど利用しており、この日も夫婦で来館したところ見事300万人目となりました。式典では、市振興公社柳田理事長より記念品の贈呈と300万人達成できたことへの謝辞を述べました。

300万人達成を受け、１月30日に「お客様感謝祭」を開催し、入浴料値下げ等により771名の方が利用しました。

災害時における交通及び地域安全の確保等に係る業務に関する協定の締結

１月25日に、一般社団法人長野県警備業協会と「災害時における交通及び地域安全の確保等に係る業務に関する協定」の締結式を行いました。

この協定は、佐久市で災害が発生した場合において、交通及び地域安全の確保のため、事業者の協力を得て、市民生活の安定を図る内容となっています。

引き続き、市民の皆様の安心・安全なまちづくりに取り組んでいきます。

岸野小屋内運動場竣工式

平成26年10月から進められた岸野小学校屋内運動場改築工事が完了し、完成を祝いました。

旧屋内運動場は、昭和43年に建設され老朽化が進んでいたことから、現地改築を行うこととなりました。内装には地元産の木材を多く使用しており、児童が地域の皆さんから見守られているような安心感と温かみのある施設として生まれかわりました。

第49回佐久市民スケート大会

１月23日、第49回佐久市民スケート大会兼第27回銀河連邦星のまちスピードスケート親善大会が軽井沢風越公園スケートリンクにおいて開催されました。相模原市からの参加も含めた総勢72名の方々が参加されました。

天候にも恵まれ、参加者の皆様が入賞を目指し、風を切ってリンクを滑走しました。

人権・男女共生フェスティバルを開催

１月31日、佐久大学において、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃と男女共同参画の実現に向け、市民の皆さん、行政や関係機関が一丸となって人権尊重のまちづくりを目指し開催しました。

当日は、蓮池薫さんの講演会、隣保館各教室生の作品展示と舞台発表、男女共同参画推進事業者表彰と発表などを行い、約630人の参加がありました。

「Saku Kids メディア Safety」第１回会議開催

１月31日、市民創錬センターにおいて、学校・家庭・地域が連携しながら電子メディア機器等との上手な付き合い方を子どもと共に考える組織「Saku Kids メディア Safety」が発足し、現状の把握と今後の課題について話し合いました。